

サービス向上部会 平成28年度活動報告

部会の目的

地域の支援者（特にサービス管理責任者、現場スタッフ）の支援力の底上げを目的に、ご本人のニーズに基づいて支援している事が確認できるような研修を行う。特に居宅支援者は障がい理解ができたところで異動になってしまう事が多いが、障がい理解や適切な支援ができる人を地域に増やしていく事を狙いとする。

⇒部会の柱は研修会

第1回研修会 H28.7.28.

参加者数24名

テーマ「日々の迷いと気づき

～その人らしく生きるお手伝いをする事とは？

本人の想いを真ん中にして考えてみよう！～」

内容 ①講義 やまとサービスセンター所長 齊藤勝彦氏
「わたしはこうやって考える 事例を通して」

②グループワーク

「この対応で本当に良かったかな？」と思う事例を持ち寄り、ご本人の想いはどうだったか考え、今後何を大切に支援をしていくべきか、グループの宣言としてまとめた。



第2回研修会 H28.9.16.

参加者数22名

テーマ「日々の迷いと気づき

～あらま・これって私中心?～」

内容 ①体験発表

「あらま・これって私（支援者）中心?」「思いやりが押し付けになっていたかも」という事例発表

②グループワーク

順番に自分の「あらま・これって」を発表し、次の人がそれに対してアドバイス。一巡したところで、その中から1事例を取り上げ、グループ内で深めた。

③車座集会

参加者全員で輪になって座り、気づきを持つことの大切さ、ご本人の想いを中心に置いた支援の大切さについて、お互いの顔を見ながら話を深めた。



第3回研修会 H28.11.11.

参加者数23名

テーマ「障害福祉サービスと 介護保険サービスの連携」

内容 ①講義 中野市高齢者支援課 山田ゆかり氏
障害福祉サービスと介護保険サービスの制度について学び、
理解を深めた。

②グループワーク
講義を踏まえ、さらに知り
たい事、制度の違いで疑問
に感じていること、日々の
悩み等の意見交換を行った。



第4回研修会 H29.1.10.

参加者数47名

テーマ「再考 利用者への支援とかがわり」

内容 ①講演会 日本相談支援専門員協会顧問 福岡寿氏

日々の支援の中で思いあたる場面を取り上げながら、支援する側の都合でご本人を風景に当てはめようとしていないか、その結果として二次障害を引き起こしていないか、ご本人の心の動くことを探しその応援ができているか、プロの支援者とは何か…「気づき」をたくさん頂ける講演会となった。



今年度の活動を通して

①研修会

- ・日々の悩み、気づき、疑問等さまざまな想いを、他事業所、他職種の方と話し、共有できる場として、また、新たな気づきを得られる場として、グループワークが毎回好評を得ている。
- ・制度や障がい特性について理解を深めるための学習会も必要。
- ・地域の支援力をあげていくために、研修会に参加できなかった人たちへどう広めていくか、課題として残っている。

②部会全体

- ・これまで、部会の中で、ヘルパー、グループホームの2つのグループに分かれ、情報共有等する時間を設けてきた。部会員からの提案で、新たに児童のグループを作り、3つのグループで、ニーズの把握や支援者の質の向上につなげるための情報共有を行っていくこととなった。

来年度に向けて

- 【部会の柱】
- ①研修会 年4回
 - ②部会内で、ヘルパー、グループホーム、児童の3つのグループに分かれ、グループごとの課題について検討を深めていく。部会も年4回の開催とする。

